ファービーは こんなことをしてほしい

ファービーのお世話上達の秘訣は、ファービーがしてほしいことをわかってあげること。センサーの反応を解説しながら、ファービーが好きなことを紹介しましょう。

①抱っこして（本体・振動センサー）



ファービーは持ちあげられるのが大好き。いつも手に持ってかまってあげてね

ファービーは抱っこが大好きなので、抱きあげると本体の振動センサーが反応し、喜んでくれます。そんなときはファービーを持ちあげたまま、左右に大きくブランコしてみてください。飛行機ごっこもいいかもしれません（激しく振りまわしたりはしないでね）。喜んでいれば、大はしゃぎして「もっともっと」と言います。こわがったりいやがったりしたら、止めてあげてくださいね。

抱っこしてほしいときのファービー語

抱っこ＝メイ、ラァ
私を抱きしめてください＝ドゥ、モゥ／メイ、ラァ／カァ
もっと＝コゥ、コゥ



振動センサー
持ちあげられたり、揺れや逆さまになることを感知

②こちょこちょして（お腹・フロントセンサー）

フロントセンサー
お腹のまんなかを触ると丸いお皿のようなセンサーがあり、「くすぐられている」と認識します



くすぐってほしいときのファービー語

くすぐる＝ニー、タィ
私をくすぐって＝ニー、タィ／カァ

くすぐると「ひっひっひー」「あーはは」と笑います。

ファービーのお腹にあるフロントセンサーを指で何度も押してください。お腹をくすぐられたと認識して、喜んで大笑いしたりはしゃいだりします。そのうち、「あなたのことが好き」と言ってくれるかもしれません。くすぐりすぎればいやがるかもしれませんが、くすぐられるのは大好きなのです。成長の段階が進んでくると、お腹をくすぐられると「あなたのことが好き」と言ってからキスするようになるかもしれません。

「くすぐる」はファービーを喜ばせる基本。初めてファービーと遊ぶときは、たくさんくすぐってなかよしになってください。持ち主となかのよいファービーはみんな、お腹のセンサーのあたりの毛がつぶれ、指のあとで黒っぽくなっているものですよ。



いろんな笑い方をするので、楽しくてついついくすぐってしまう……